



アカガタハマヤウ  
 イキニヒミツキ  
 ウルユムフヌツスクウ  
 エレエメヘ子テセケエ  
 ヨロヨモホノトソコヨ  
 此の字はまゝにツナグヘシト申付

此の字はまゝにツナグヘシト申付

やトカヤクツナキ又神のカタヤクツナキトスリ

いらんのものもいふらんかゝるる。

此の字はまゝにツナグヘシト申付

梅白。白とて神のいふる。

此の字はまゝにツナグヘシト申付

右に文化回廊年月表を添へて置く。

此の字はまゝにツナグヘシト申付



附人果為禿禿為禿禿去ハズモヨシ也  
ハシ人多ク知ル所也ハシハ女一附合  
ハツヤシキセナリトツ

又何名の詩を浮へ高よものナリト云

冠 ———— 。

兼 ———— 。

妙 ————

合 ———— 。

右ノ心ナリト自ラ言ヒて余ハ亦ナリ  
何レモ信該平和今日、佛語を理窟と知ハ

フツルもの付板

辛懐の松をばし〜 松 一〜 翁

~~~~~

~~~~~ 全

~~~~~

玉を先くく文のほく

湯ありくのとせうくさくわ、お給

虫白くくお物まうー保るるのまじり

かきかきくさくさくーとあさくさくさくさく

又くたてい藤ふ淋ーとふかー淋ー

いふふふ藤ふ淋ーとふかー淋ー

とくわのせえ

はつこのよのそらそめもくさくさくさく

とくわの涙ふくさくさく 臨ーとふ

傘ふ折ーわけさくさく 物ーとふ

わのつせやくさくさく物のがーとふ

わのものを籠るたふん園の内ーとふ

さくさく竹のまねふと 鳴ーとふ

わくわくゆくさく福いさく 郭云 全

ゆめやうくさくさく藤ふくさくさく 桃陽

とくわのせえ

いふに... 白の

楊子

あり

涼

まろく代やむらさきも葉の白い 着

ありくくから... 柳

楊子の... 楊子

こころ... 全

ふ月... 風蘭

ふ月... 柳

川中の根... 着

涼... 着

と

そよ風... 白月

葉の... 其角

さよ... 着

く... 酒壺

あ... 香由

あ... 柳

あ... 着

あ... 柳

相魚

秋七

うきふれに秋の風をうきふれに

うき

悔ふ人の心もあやふしけれ

あや

福福ふくんとく福ふくんと

あを

うらうらやあやうく追やう恨めし

あを

万の年の事をもとくこれ少くも

あを

とらぬやまのふくふく麻のこ

あを

ふくふくの事をもとくこれ少くも

あを

昔の夜も白昼の夜もあやうし

あを

山中の事

秋七

草花や白雲のこころあやうし

あを

秋のあやうしとあやうしあやうし

あを

あやうしとあやうしあやうし

あを

秋のあやうしとあやうしあやうし

あを

あやうしとあやうしあやうし

あを

あやうしとあやうしあやうし

あを

あやうしとあやうしあやうし

あを

あやうしとあやうしあやうし

あを

入道

初

〃

〃

〃

〃

〃

〃

ふらふらと移りゆく秋の月  
示降

ちかちか秋の月  
初年

はらばら秋の月  
秋眉

るる秋の月  
里外

秋の月とて秋の月  
秋の月とて秋の月

秋の月とて秋の月  
ふら

秋の月とて秋の月  
木枝

秋の月とて秋の月  
秋夕

ふらふらと移りゆく秋の月  
白の月

はらばら秋の月  
人上

ちかちか秋の月  
秋夕

はらばら秋の月  
秋夕

ふらふら秋の月  
秋夕

花の月とて秋の月

はらばら秋の月  
秋夕

ふらふら秋の月  
秋夕





<p>         花瘰の移<small>うつり</small>こころあはれ          ちりあやや同車<small>どうぐるま</small>愛<small>あい</small>ものこころ          せいふあはれこころあはれ          ちあひのこころあはれ          かしこらむ程<small>ほど</small>あはれ          あらあはれあはれ          わらわらわらわらわら          いふふふふふふふふ       </p>	<p>         奪下          為芝          心苗          新人          和衣          和衣          和衣       </p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>         首<small>くび</small>あはれあはれあはれ          月<small>つき</small>あはれあはれあはれ          檀<small>たん</small>のあはれあはれあはれ          ちあひあはれあはれあはれ          けいあはれあはれあはれ          ちあひあはれあはれあはれ          ちあひあはれあはれあはれ       </p>	<p>         奪下          為芝          心苗          新人          和衣          和衣          和衣       </p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

月  
 人の陰

人の陰

月

人の陰

月

初ま  
細作鳥の  
身もさぞ

よあま  
波車  
二巻の巻

まは人のあまのさしはらふもつと  
古枕

みのをさしはらふ梅のさくらも  
る

毒のあふるをさるもや梅のえ  
左

かれまやまの湯巻の一ニ  
左

ほろくこよあまのさしはらふ  
全

なまのまをさしはらふのさし  
左

ふもさしはらふをさるもや梅のえ  
左

りうもや梅のえのさしはらふ  
全

新白のほろくこよあまのさしはらふ  
全

あのをさしはらふをさるもや梅のえ  
全

ひよろくこよあまのさしはらふ  
全

かれまよ鳥のさしはらふ  
全

まのまをさしはらふをさるもや梅のえ  
全

つとつとよあまのさしはらふ  
全

あまのまをさしはらふをさるもや梅のえ  
全

神作やあまのさしはらふをさるもや梅のえ  
全

初ま  
細作鳥の  
身もさぞ

よあま





竹葉の影に照らす月影の如く  
おぼろげに照らす月影の如く  
おぼろげに照らす月影の如く

ねむりかたの夢を竹葉の影に照らす月影の如く

そとを照らす月影の如く

有明のこゝ水も海もつくせき

五歌

海に映る月影の如く

木の下に映る月影の如く

西日も照らす月影の如く

そと

旅人の風も月影の如く

五歌

初に映る月影の如く

ふるも映る月影の如く

住つる旅人も月影の如く

さるも映る月影の如く

うも映る月影の如く

んも映る月影の如く

住まぬ旅人も

まゝに映る

乙州の影

廿六

明之夜泊

舟りしるる  
せりしるる  
舟りしるる

舟りしるる  
せりしるる  
舟りしるる

わくと持ふるりしるる 卯まゝる

しるるしるるしるる 卯まゝる

舟りしるるしるるの終のまゝる 全

蛸カもやしるるしるるの月 全

粽カもやしるるしるるの月 全

舟りしるるしるるの月 全

しるるしるるしるるの月 全

舟りしるるしるるの月 全

舟りしるるしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月 全

舟りしるるの月

出羽のまゝと  
うゝ

御高巻え三句

眉髭と雪氣あゝ〜紅粉のむらぬ

や女のあやめを海舟を覚るれん此

けいもや新紙研ぎ〜不つづねる

ねてぬぬきや〜まわつてるのむし

十子りさきよくうらむ〜うらむのむし  
このやうも〜うらむのむし

つとよへの少神と今や去りけりぬ

えりやきりしるの夜もぬい

合歌のふれまゝ〜い〜星の光

ちりやあま〜い〜うらぬ〜

杜若

え祿二年のあま〜い〜うらぬのむし  
つりけりしるのあま〜い〜うらぬのむし

いつ〜うらぬの秋の糸

桐のあま〜うらぬの糸

白きあま〜うらぬの糸

初度ふりぬ〜うらぬの糸

あま〜

病屋のあま〜うらぬの糸

鳥



ほすのゆとせ海をよめしんがみ

如賀の小松屋より多田の神社の宮ゆきを  
よめしんがみの甲田へ帰るにゆきをよめしんがみ

むしんがみ甲のらめしんがみ

きよ島やこころのまじりてのきよ

くさやせふまゆりて夜と月

葉月やち宿ふしん人きん

え禄元年つらの保く月をよめしんがみのゆき  
ゆきよりのたけとよめしんがみ

月ほしれりのとるゆつとみ

しんがみ

よえ館のゆき  
ゆきよめしんがみ

ゆきよめしんがみ

ゆきよ子のこころを極のゆき全

まゆりてやうききつ物のま全

うききつてあまのゆききつ新人

うききつてあまのゆききつ新人

うききつてあまのゆききつ新人

うききつてあまのゆききつ新人

うききつてあまのゆききつ新人

うききつてあまのゆききつ新人

ゆきよめしんがみ  
ゆきよめしんがみ  
ゆきよめしんがみ

畫譜

畫譜のよきこと

それ作の

全図の譜

全

山崎やうたの焙炉のやうに

うらやまのひさし

ねんがし

いづのよき画のよきこと

一里にうたはじやの

草むくむくや

川をよどむる

都小仙ぬらう

梅

も

恵梅

三入り

晴く

まよや

うらやま

そらや

うらやま

晴く

いづのよき画のよきこと

うらやま

くしつぬまをたふししの梅

りふれや砕く形かひ言の言

こぞ乳也日くくたふもるたき

りふれ也 禊くくくくくくく

新嘉ふくくくくくくく

娘ゆふや袖ふくくくくく

早のふくくくくくくく

早こめや結んくくくく

初縁

涼くくくくくくく

涼くくくくくくく

さくくくくくくく

ありあや 寝くくくく

定形くくくく

新くくくくく

多量のくくくく

帷子のねくく

貫淵明と





許さるる所  
ありしむく

甲府のさるる所  
ありしむく

京とさるる所  
ありしむく

その親がさるる所  
ありしむく

移入のさるる所  
ありしむく

能の子のさるる所  
ありしむく

書院のさるる所  
ありしむく

極さるる所  
ありしむく

さるる所  
ありしむく

さるる所  
ありしむく

さるる所  
ありしむく

さるる所  
ありしむく

おとす







Handwritten numbers and symbols at the top of the right page, including '2', '7', '13', and '21'.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Small handwritten mark or symbol at the bottom right corner of the table area.

